

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	昨年運営上の方針、理念については職員全員により協議の上決定し、職員、利用者様、家族様のわかりやすい場所に掲示している。	○ 既に取り組み、掲示も行っている。これからも職員一同理念、方針に基づきケアを行ってきたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	掲示を行い職員に周知徹底を図っている。	○ 理念に基づくケアが不十分な点に於いては職員間相互に注意し合っていく。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関、フロアーに掲示しているため家族や他来訪者は、知り且つ理解をして頂ける。	○ 運営推進会議や地域参加をもって地域の人々とは徐所に関わりを持って行きその中で理念を伝えていっている。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方々とは気軽に挨拶を交わしている。	○ 気軽に立ち寄って頂けるよう建物周辺には草花を植え手作りの表札を作り入りやすいような工夫はしているが個人情報についてご家族の意向もあって日常的なつきあいまでは至っていない為、今後はご家族とも話合っていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	定期的に運営推進会議を持ち交流の機会を得ている。	○ 自治会における運動会、就学児童の下校時の見守りなどの地域参加や反対に自治会の代表の方が当施設での敬老会へ、出席されたりと互いに交流は行っている。今後も広範囲にと努めていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	出来ていない。	○	運営推進会議等で提案をし、協力出来る点を訊き互いに情報交換していく。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価で助言など受けた箇所に於いては改善に取り組んでいる。	○	今後も職員が変わったり他変化に伴い十分意義を説明し、改善すべき点については引き続き全員で取り組んでいく。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	報告書も提供しており、それも参考に課題を掲げ質問、意見交換を行い実践へとつなげるように努力している。	○	左記継続
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	利用者、家族間で問題視している内容について相談、助言等は受けている。	○	今後、サービス全体を見通しての相談などの機会の場として関係性をもっていきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	今回入居者のお一方が成年後見制度を利用される事がきっかけとなり職員が研修に参加し、その伝達を会議で行った。	○	全員概要だけでも周知出来るように定期的に学びの場をもっていく。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止については会議で勉強する機会を設けた。また、利用者と家族間との問題としてこの地域包括支援センターに相談をかけた。	○	上記と同様に定期的に研修し啓発に取り組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分に耳を傾けると共に契約時にはその時々予測される事に対する対応も含み契約書、重要事項説明書の説明もきっちり行い、又解約時には受け入れ先についても意向を訊き出来るだけ沿うような配慮を行っている。	○	左記継続
13	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見、不満に対しては常に管理者及び職員全員が耳を傾けている。	○	外部へ表せる場合は苦情処理として扱い提出している。今後も同様に継続していく。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	職員の異動については適宜来所の際に、各利用者の暮らしぶりは家族の方に1回/月、新聞を通して報告し金銭管理は収支を記帳報告し適宜残金を確認していただき押印を受けている。	○	左記継続
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置し、また外部には苦情受付機関を明記した文書も掲げている。	○	引き続き苦情、意見などにも耳を傾け対応していく。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1回/月の会議で意見を聞く機会を設けている。	○	会議以外でも職員の声には耳を傾け法人内にも相談を行っている。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状況の変化により必要な場合は勤務調整を行っている。	○	必要時職員間で話し合い、勤務変更を行っている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員は基本的には固定化しているが異動、離職の際にはその職員に意向は訊き改善可能な点は配慮している。又代わる場合は利用者、家族に対して新職員よりきっちりコミュニケーションをとるようにしている。	○	左記継続
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内にて1回/月、研修会を開催している。	○	事前に研修会の開催を掲示して出来るだけ多くの職員が出席可能なように勤務を考えていっている。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今迄はネットワークがわからず行っていなかった。	○	本年度の12月より北区として開催している集会に参加し、その際に本区としての交流連携を行えるように取り組みを検討していく予定。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ハード面にての改善は難しい。来訪者との相談室と休憩室(更衣室)とを併用している為休憩室での職員の休憩がとれない事がある。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者には情報を適宜提供し、勤務状況については実績表も渡しており法人からも当施設に適宜来訪もしている。又向上心を図れるように法人内での勉強会、他FAXなどで送信された学習案内を掲示し、各自スキルアップを目指せるように努めている。	○	左記継続

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時ご家族を通じて面接の形をとり話を聴いている。	○	左記継続
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初回電話にて入所の問い合わせより話を聴き状況に際しケースワーカーや介護支援専門員を交え話も聴いている。	○	左記継続
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を十分に行い当施設からアプローチできる支援内容を提示している。	○	当施設以外法人の他の施設のサービスが適切か等も視野に入れて考えている。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	先ず施設職員がどのような形で本人に会って良いのかを家族などの支援者に尋ねその後本人が了承の上見学に来て頂き少しの時間だが職員、利用者と過ごす時間を設け馴染みの段階を作りその状況を基に更に家族などの支援者と本人の心身状態を見極めて調整を行っている。	○	左記の継続を行いどうしても早急の利用を必要とされている方に対しては当施設の環境に馴染めるまでは家族など支援者により本人と電話や訪問での関わりの強化をしていき情報交換も頻回に行っていきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の気持ちに共感し、会話をしている。又得意とされる事に関しては職員が教わっている。	○	左記継続

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には細やかな事も報告を行い、互いに協力しあい、利用者を支えている。	○	左記継続
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者が必要であるという事に思われる事に関しては協力を依頼している。	○	左記継続
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族との外出、外泊、面会もいつでも出来るように支援しているが、友人、知人の方に対してはどうしても認知症の方の施設という事でご家族の方から反対の意がある場合も現状ある。	○	馴染みの人との関係についてご家族には今までの生活の延長という点での必要性を話し、理解を求めていきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	常に利用者間に入り、よりよい関係を保っていたできるように支援している。	○	左記継続
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所した方も受け入れ先が決まった場合は、時折面会行ったり、逝去された利用者のご家族に手紙を書いたりしている。又他の施設に変わられた方にはご家族の了承の上でケースワーカーからも状況を聞いている。	○	左記継続

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を使用し、把握に努めてはいるが全員とまではいっていない。	○ 利用者全員に出来るように徹底していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	同上	○ 同上
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日課計画も作成しやケアカンファレンスを1回/月、定期的なモニタリングで現状を把握し、心身状態については往診時に確認し、申し送りを行い把握している。	○ 左記継続
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアカンファレンスを基に計画を作成し作成した計画はご家族にも説明し同意及び意見を求めている。	○ 出来るだけ本人、ご家族、必要な関係者から意見を聴く場を多くもっていく。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	体調、状況変化に伴いカンファレンスを開催している。	○ 左記継続

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子はケア記録に記載し又気づきは申し送りノートも活用し情報を共有している。	○	左記継続
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院などに対しては家族が可能な状況では同行して頂いているが無理な場合は当施設で行っている。又個人の意向に沿った外出、買い物なども時間、人員の許容範囲内で可能な限り行っている。	○	左記継続
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアは1回～2回／年、他には図書館に利用者と共に行っている。	○	現在の所は必要性がなく地域資源としては協力を得ていないが今後必要があれば個人情報の許容範囲で協力を求めていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今回、同じ法人内であったが本人、ご家族の意向を訊きより良い生活を送って頂くための支援を行ったり、地域のケアマネジャーや他のサービス事業者も交えて話し合い、本人、家族の意向に沿った異なるサービスの利用の支援を行った。	○	今後も協力を求めて支援していきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の権利擁護の主旨で地域包括センターに相談し、協働で解決を行った。	○	今後も権利擁護などの福祉問題において必要時は協力を求めていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所以前に入院されていた病院との関係は保持し、一部の病院（整形外科）とは訪問診療の形もとっている。又変更する場合は前医師より診療情報提供書を書かれている。	○	ご家族との信頼関係も保っている。今後も同様に継続していく。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医の診療が必要な利用者は治療を受けられるように支援を行っている。現在1回／月又は2週間に受診の支援を行っている方もおられる。	○	左記継続
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	職員の中に看護の資格を保有する職員がおり、常に相談し、その職員から細やかな情報を主治医に通して適時指示、助言を受けている。	○	今後はさらに在宅支援診療所の看護師とも気軽に相談関わりをもつようにしていく。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時、入院中はケースワーカー、担当医師、看護師等と常に連携を図り職員も定期的に面会にも行っている。	○	左記継続
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期を当施設でと希望されていた利用者については常に主治医、ご家族とも相談を適宜行い出来る限りの支援は行った。	○	適した治療、看護は主治医はおりながらも医療現場ではないため限界がある為今後は当施設としては可能なケアを十分説明し入院治療という形で本人、ご家族には理解を得ていく。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	施設で出来る範囲のケア、リスクをかかりつけ医に報告し理解を得ている。変化時にも備えて24時間連携を行い互いに協力しあっている。	○	左記継続

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご家族、ケア関係者間で十分な情報交換し話し合いを行い支援している。当施設より別の所へ移り住む場合数日体験をして頂きダメージも防止できた。	○	左記継続
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	声かけなどは個人の尊厳を重んじ気づいた事は互いに注意し合っている。又記録も個人情報にも十分配慮している。	○	左記継続
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の訴えられる希望などは自訴できやすいように気遣っている。出来る範囲納得されるようにゆっくりその方に応じた説明を行っている。	○	左記継続
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的には1日の流れは決めてはいるが個々の心身に応じた支援も充足できるように努めている。	○	共同生活という事もあり他利用者に迷惑が及ばない範囲内で個々のペースに合わせている。この対応方法を継続。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	利用者の行きつけの所がある方に関しても支援し、定期的に訪問理容も活用されている方もおられる。また、お化粧をされている方もいる。	○	左記継続

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	○	左記継続
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	○	左記継続
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	○	個々の排泄パターンを把握するようにしておりその方の状況でのトイレ誘導をしている。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	○	当日の職員数にもよるが本人の要求に沿って今後行うようにしていきたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	○	本人の意に沿い自由にして頂いている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	○	本人に負担にならないよう、楽しい、嬉しい、力になる事を主に考えての配慮を心がけている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自身で小遣い程度の額を所持されている方もおられ、職員同行で買い物に行き、自身で支払いもされている。	○	今までしていた事でもある為支払いの学習面もレクメニューに入れている。それにて少しでも多くの利用者ができるように支援していきたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	中には拒否される方もおられるが、出来る限り希望に沿いご家族、職員同行で外出している。	○	ご家族と一緒にというのが一番の希望にて可能な限りご家族にも協力を得ていきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別として頻回とまではいかないがが集団レクとしてバラ園などの季節感を感じられる所や芝居見物などにも出かけている。	○	可能な限りご家族の手助けもかりて出かけられる機会を少しでも多く作っていきたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話も設置しており自らかけ又手紙も書かれて出しておられる。	○	左記継続
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	当施設としては訪問を制限なくお願いしているが実際個人情報の守秘範囲でご家族から知人、友人の訪問は断りの依頼も受けている為全員とまではいかない。	○	本人の意思を尊重した上でご家族と相談の上で進めていきたい。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人内にて身体拘束防止委員会も設置し、その中のメンバーにも職員は入っている。その内容については議事録にて回覧し身体拘束をしないケアに取り組むように努めてはいるが本年度やむを得ずご家族の同意も得た上で玄関、フロアの扉の施設は時間制限の上約2ヶ月間、行った事がある。	○	施設内で解決し得ず身体拘束につながってしまう危険性がある場合は法人、身体拘束防止委員会に相談し、協力を求めていくようにする。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	身体拘束にあたる事を理解し、行っていない。	○	玄関にはセンサーは付いているがそればかりに頼る事なく（またそのセンサーは玄関全体をキャッチする事は困難な為）職員個々がその対象の方の様子に目を向けて従事していくように心がけている。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	所在確認については常に意識し、言動、表情、言葉のトーンなどへの気配りを行い、起こされる行動への危険の予測がないかについて注意しているが本年度は無断離所があった。無断離所については身体拘束防止委員会や事故防止委員会、業務会議に於いて話合っている。	○	今後、尚の事危機管理について十分各自認識していき絶対に起きる事のなきよう、職員一同重視していく。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	常態は利用者の手が届かない所、物によっては施錠する場所に保管はしている。必要時適宜置くようにし、その場合は職員が見守りを怠らないように気をつけている。	○	危険性にもよるが十分説明の上で出来るだけ目の届く範囲内に置き職員が目配りして安全性に配慮していく。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止委員会も法人内にて設置し委員を担っている職員も施設に配属しておりマニュアルも即、見れる場所に保管し且つ回覧もしている。又法人内研修や会議等で学習の場を作っており参加している。	○	事故またひやりはっと報告書に記入し何故、事故が発生したのか？を会議、事故防止委員会で協議を行っており、それを継続していく。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	本年度消防署よりAEDを使用した救命講習を開催したり又欠席者には伝達講習を行った。またマニュアルも作成し、即観覧できる場に保管しているが応急手当、初期対応に関しては定期的訓練は実施していない。	○	応急手当、初期対応に関しても定期的な訓練も実施していきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し1回/年消防署の電話での協力で避難訓練を行っており避難場所においては運営推進会議で協力を呼びかけており飲料水は2ℓのペットボトルに入れて常置している。	○	訓練は2回/年施行していくように改め咄嗟に慌てず対応できるように全職員が心がけていけるようにしていく必要がある。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	契約時且つ経過中に説明は適宜行い個々に応じた対応策を考えながら出来るだけ本人の思いを中心とした生活を支持している。	○	左記継続
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化や異常時、予兆も含めて職員全員が注視し情報も共有し気づいた際には速やかに主治医に報告している。	○	左記継続
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員は服薬のセットに関わり、且つ医師の往診時にも付き添い医師から受ける薬効、副作用についても耳を傾け他職員には申し送りを行い些細な変化にも注意を施している。	○	左記継続
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	各職員は理解し常に水分、繊維類を摂取するように促したり入浴の際には下腹部のマッサージを行い適宜散歩、屋内での運動レクなどで身体を動かすなどの対応は行っている。	○	左記継続
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	訪問歯科医、衛生士よりケアマネジメントの提供及び指導を受け、うがい、マッサージ、歯磨きなど毎食後、無理な方に関しては1回/日でもその利用者の状況による口腔ケアを行っている。	○	左記継続
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー、水分制限が必要な方には医師の指示を受け食事量が低い方に対しては盛り付けも加減し食が進む工夫をしたりむせる危険性がある方に関しては粥、刻み食として提供したり誤嚥の高リスクの方にはミキサー食咀嚼が困難な方に対しては潰したりと工夫している。栄養量に低下されている方は主治医より栄養補助食品の処方もある。	○	左記継続

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染防止委員会も法人全体として設置しており職員の中にもメンバーとして活動している。マニュアル、他市からの通達なども全職員に回覧し、認識し、実行している。	○	左記継続
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具類に関しては毎晩ハイター消毒を行い食材に関しては中身迄温度を確認しきっちり決まった日の分を使用し調理後はその環境の気温、調理形態、食材に応じ時間を観て廃棄している。	○	左記継続
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	親しみやすい表札もかけており玄関には温もりが感じられる置物も常置している。出入り口には植木を置いてあるが手入れが完全ではない。	○	出入り口の周囲にはもっと花を植えて家らしい雰囲気にしていきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には動きやすい配慮をしている。又五感を損なわないよう、音、光にも配慮し調理の際の香り、食材の切る音、食器の洗う音など家庭の中の温もりの音が自然と耳に入ってくる。光に関しても厚薄のカーテンを使用し光の加減にて調整している。又フロアの飾り付けは利用者と一緒にしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	サブリビングがあり別にフローにもセミパブリックスペースとしてソファを置いて気の合った利用者同士の会話の場となっている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	家庭での馴染みの物（仏壇や使い続けているタ ンスなど）も置かれ自然に自分の家＝部屋とい う事を認識できるように工夫している。只いく つもの病院を転院され入所された方におい てはあまり置いておられない。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	毎朝掃除時には必ず窓を開けそれ以外にも適 宜換気を施し加湿器も設置し、湿温計で湿 温も確認しそれにより調整し快適を保つよ うにしている。	○	左記継続
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	手すりやホームエレベーターを設置するな どのバリアフリーになっており、また個々 の必要性に応じてシルバーカー、杖、車 椅子などの補助具も使用し安全且つ自立 への工夫をしている。	○	左記継続
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混 乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるよ うに工夫している	各利用者に最大の力を活かして頂けるよ うにサポートを行っている。又部屋、ト イレ、浴室などへの表示も利用者の方 々が判り易いような表示をしている。	○	左記継続
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が 楽しんだり、活動できるように活 かしている	ベランダにおいては狭く活動するには危 険が高い。夏には裏側に、花や野菜を 植えたりしてかぼちゃ、マッカ、む らさきえんどう等の収穫もした。	○	現在は花壇の活用をしていないので、今 後はもっと花壇を活用して季節々の 花、野菜を植えて好きな方には世 話を頂き趣味の一貫として楽し んでもらいたい。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・出来る限りゆとりをもって個々の思いや願いを聞く事ができるようにコミュニケーションを多くもつ事に努めている。 又 皆様が良い顔をされて喜ばれる入浴に関して毎日を入浴日と決めて出来る限り本人の要求に沿って行うように継続していく。